

# 令和2年度事業報告

今日、地域住民における福祉課題・生活課題が多様化する一方で、住民相互のつながりの希薄化が進むなど地域社会は大きく変容しています。

特に新型コロナウイルス感染症拡大により経済的に不安を抱えると同時に、感染防止の取り組み等で行動が制限されることで社会的・経済的孤立等の問題が懸念されています。

このようななか、本会では門川町が策定する「第3次地域福祉計画」にあわせ、「第5次地域福祉活動計画」を一体的に策定した「地域福祉総合計画」を基本として、地域福祉事業、介護予防事業をはじめ介護保険事業等を町民、行政、福祉機関等と一体となり推進してまいりました。

引き続き、「新しい生活様式」を取り入れながら地域福祉の向上に取り組んでいきます。

以下、令和2年度の事業計画に掲げた具体的事業等について報告いたします。

## 1. 活動推進状況

( ) 内は昨年度

### 1) 地域福祉活動の推進

地域福祉課では、安心安全な地域づくりをめざし、各種事業の推進に努めました。

#### (1) 地域福祉総合計画〔第3次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画〕の推進

- ・地域福祉総合計画策定の進行管理
- ・社会福祉協議会事業評価の実施

実施日	令和2年6月10日(水)	令和2年6月26日(金)
場所	門川町総合福祉センター	門川町総合福祉センター
出席者	理事6名、監事2名	評議員7名、監事2名
内容	令和元年度事業報告及び収支決算について	

#### (2) 地域での見守り交流活動支援

##### ①地区福祉推進委員会活動の推進

地区福祉推進委員長 41人(地区会長)

地区福祉推進委員 436人(推進委員長含む)

##### ア 地区福祉推進委員研修および座談会の実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 地区福祉推進委員長会の開催（年2回）

実施日	1回目：令和2年5月22日（金） 2回目：令和2年9月25日（金）
場 所	門川町総合福祉センター
出席者	1回目： 7名（新任のみ） 2回目： 41名
内 容	1回目：新任研修・・・福祉ネットワーク事業の基礎 他 2回目：高齢者の見守り活動について

ウ 小地域見守り活動の充実

- ・安心カード登録者台帳更新  
（ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、その他気になる世帯等）  
※変更があった場合は随時更新

エ 活動費の助成

- ・地区福祉推進委員会活動費助成  
37地区 798,000円（42地区 852,000円）
- ・地区自主活動支援 年3回以上の活動に対し年間30,000円助成  
37地区 1,110,000円（42地区 1,260,000円）
- ・年末年始事業助成  
19地区 190,000円（32地区 314,922円）

オ 福祉推進大会の開催【社協主催】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

カ 福祉バス運行事業【町受託事業】

福祉バス運行を実施し、高齢者の生きがいがづくり及び地区福祉推進活動支援を行いました。

行先	回数（回）	利用者（人）
県内	6（18）	127（368）
県外	1（10）	19（215）
合 計	7（28）	146（583）

※新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少。

## ②福祉意識の高揚

住民への広報活動やイベントを通し、福祉意識の高揚を図りました。

### ア 第27回福祉ふれあい祭り2020

#### ○実行委員会の開催

実施日	令和2年7月16日(木)
場所	門川町総合福祉センター 大会議室
出席者	14名
内容	福祉ふれあい祭りの開催について実行委員会で協議した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を決定した。

### イ 福祉推進大会の開催【再掲】

#### ウ 情報提供の充実

- ・社協だよりの発行(第304号～第315号)  
配布先 町内全世帯、福祉施設関係機関 毎月6,450部作成
- ・町内掲示板、班回覧の活用  
本会ホームページでの情報提供
- ・エフエムひゅうが「福祉と健康ライフ」ラジオ出演  
年間10回出演(社協事業等に関する情報提供)

## ③生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター事業)【町受託事業】

### ア 生活支援コーディネーターの配置(2名)

### イ 社会資源の整理とニーズの把握

実施日	令和2年7月1日(水)～8月31日(月)
内容	各地区のアセスメントシートに基づいた情報の整理、マップ作成

### ウ サービス開発に関する基盤づくり

#### ○研修の参加

実施日	令和2年10月13日(火)
場所	宮崎観光ホテル東館
研修会名	宮崎県社会福祉大会
内容	講演 演題「新型コロナが問う地域の福祉と共生」 講師 宮崎県福祉保健部 部長 渡辺 善敬 氏
出席者	生活支援コーディネーター 1名

実 施 日	令和2年10月27日（火）
場 所	県総合保健センター大研修室
研 修 会 名	宮崎県生活支援コーディネーター連絡会
内 容	○行政説明 ○報告 ①「日向市社会福祉協議会における取組」 ②「小林市、小林市社会福祉協議会における取組」
出 席 者	生活支援コーディネーター 2名

実 施 日	令和2年11月13日（金）
場 所	椎葉村交流拠点施設 かてりえ
研 修 会 名	令和2年度 日向市・東臼杵ブロック社協連絡協議会
内 容	グループワーク コロナ禍における生活支援体制と取組について
出 席 者	生活支援コーディネーター 1名

○門川中学校ボランティアクラブ立ち上げ支援

（会議開催）

実 施 日	令和2年 6月25日（木） 7月14日（火） 8月 5日（水） 9月24日（木） 11月20日（金）
場 所	門川中学校
参 加 者	門川中学校ボランティアクラブ担当教諭 2名 生活支援コーディネーター 2名
内 容	会則の作成、ボランティアクラブの活動内容検討、 福祉施設へのメッセージ配布活動、手話教室の実施に関する検討

○高齢者施設入所者、在宅高齢者へのメッセージカードの配布

門川中学校生徒が作成したメッセージカードを福祉施設へ配布しました。

- ・老人の日に福祉施設入所者へのメッセージカードの配布をしました。

（高齢者入所施設 12施設 利用者381人）

- ・12月下旬にデイサービス利用者にメッセージカードの配布をしました。

（通所介護事業所 5施設 利用者221人）

○認知症高齢者支援に関する事業

実施日	令和2年7月17日（金）
場所	門川中学校
参加者	門川中学校1年生 163名
出席者	生活支援コーディネーター 1名
内容	認知症サポーター養成講座

エ 地区サロン等における買い物支援活動の推進

○検討会議の開催

実施日	令和2年 6月18日（木） 6月30日（火） 7月28日（火） 9月29日（火）
場所	加草公民館（加草4区）
出席者	加草3区、4区地区会長、民生委員 ショッピングセンターまるさ1名、生活支援コーディネーター2名
内容	サロン実施時における買い物支援事業について

○説明会の開催

実施日	加草3区 令和2年10月19日（月） 加草4区 令和2年10月22日（木）
場所	加草3区公民館、加草公民館（4区）
参加者	加草3区（サロン参加者15人） 加草4区（サロン参加者11人）
出席者	生活支援コーディネーター2名、ショッピングセンターまるさ1名
内容	サロン実施時における買い物支援事業について

○買い物支援事業の実施

実施日	令和2年10月から 加草3区 毎週月曜日 午後1時から 加草4区 毎週木曜日 午前10時30分から
場所	加草3区公民館、加草公民館（4区）
内容	サロン実施の時に商品の注文を受け、翌週に配達をする。 ショッピングセンターまるさ…肉、野菜、日用品などの注文品を納品 ワークセンター悠々工房…すり身や干物等の物品販売 1回あたりの利用…加草3区（平均5人）、加草4区（平均7人）

- オ 生活支援ボランティア育成研修会の開催  
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

カ 地域ケア会議への参加

実施日	令和2年 7月15日(水) 10月21日(水) 12月16日(水)
場所	門川町役場南館2階会議室
内容	要支援者、要介護者の支援状況の確認と助言
出席者	生活支援コーディネーター1名(3回出席 延3名)

(3) 総合相談事業の推進【町受託事業】

常設相談・無料弁護士相談を実施し、町民が抱えている心配ごとや専門的な事案に対し総合的に対処し、問題解決への相談に応じました。

①常設相談員の配置と無料弁護士相談の実施

事業名	開設日	開設時間
常設相談	月～金曜日	午前9時～午後4時まで
無料弁護士相談	毎月第3火曜日	午後1時30分～午後4時30分まで

○相談件数382件(417件)

〈内訳 常設相談 320件(350件)、弁護士相談 62件(67件)〉

[ ]内は弁護士相談

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	28 [6]	人権・法律	79 [12]
年金	0 [0]	財産	63 [19]
職業・生業	5 [0]	事故	4 [0]
住宅	7 [3]	児童母子福祉	1 [0]
家族	23 [7]	教育・青少年	5 [1]
結婚	0 [0]	心障児(者)福祉	0 [0]
離婚	22 [8]	母子・父子福祉	1 [0]
保健・衛生	0 [0]	老人福祉	107 [1]
医療	2 [0]	苦情	14 [2]
精神保健	3 [0]	その他	18 [3]
合計			382 [62]

②総合相談センターだよりの発行(年6回 社協だよりの発行)

#### (4) 生きがづくり・介護予防事業の実施

##### ①ふれあい交流事業の実施（総合福祉センター「ふれあいの館」の開放）

※新型コロナウイルス感染症の予防対策として令和2年3月4日から事業を休止し、検討した結果、今後の事業継続は困難と判断し廃止しました。

##### ②福祉バスの運行事業【再掲】

##### ③高齢者スポーツ活動助成

四半的協会が開催するスポーツ大会に助成を行いました。

1団体 5,000円（2団体 12,000円）

#### (5) 住民主体のボランティア活動の推進

##### ①ボランティアセンター事業の推進

###### ○ボランティア活動者

項目	人数	団体名
ボランティアセンター把握者数	2,180人 (1,764人)	・高齢者クラブ連合会 ・地区福祉推進委員会 ・子ども見守りネットワーク活動者 ・災害ボランティア関係活動者他
ボランティアセンター登録者数	465人 (462人)	・ボランティア連絡協議会会員 18団体358人、個人8人 ・福祉施設訪問ボランティア96人 ・個人3人（新規）

##### ア ボランティアに関する協議への参加

- ・ボランティアに関する検討会の開催（年3回）
- ・福祉教育に関する検討会への参加（教育の絆推進懇話会）（年3回）
- ・学校運営協議会への参加（各1名）

会議名	回数
地域学校協働本部会	3回
門川小学校学校	3回
草川小学校	3回
五十鈴小学校	3回

##### イ ボランティア相談・派遣

相談件数（件）	16（24）
活動件数（件）	15（47）
活動者数（人）	47（247）

ウ ボランティア活動に関する情報提供の充実

- ・社協だよりの発行（第304号～第315号）【再掲】  
配布先 町内全世帯、福祉施設関係機関 毎月6,450部作成
- ・町内掲示板、班回覧の活用【再掲】  
本会ホームページでの情報提供【再掲】

エ 託児ボランティア事業の推進

参観日等に学校内に託児所を設け、未就学児等の預かりを行いました。

活動件数	7回	草川小学校6回、門川中学校1回
利用児童数	延44人	
ボランティア活動者	延16人	

オ 収集ボランティア活動（ボランティアセンター受付分）

項目	実績数
ペットボトルキャップ	1,430kg（1,110kg）

※ペットボトルキャップは約248人分のポリオワクチンの購入に充てられます。

②福祉教育の推進

ア 社会福祉普及推進校の指定

門川小学校、草川小学校、五十鈴小学校、門川中学校、門川高等学校（全5校）

イ 社会福祉普及推進校助成の実施

- ・活動費助成（1校につき年間上限50,000円で助成 事業申請型）

助成額	250,000円
内容	子ども見守りネットワーク事業、施設利用者との交流、環境美化活動、福祉体験学習、募金活動など

ウ ふくし体験サポーター養成研修の開催

実施日	令和2年12月7日（月）	令和2年12月8日（火）
参加者数	生徒14名	生徒10名
場所	門川中学校	
出席者	講師 手話サークル4名	
内容	聴覚障害について（講話） 手話の挨拶、指文字、自己紹介の方法	

エ 福祉体験学習の支援

実施日	令和2年10月28日(水)
場所	門川高校
参加者	福祉科生徒48名
出席者	講師 手話サークル1名、職員1名、実習生2名
内容	聴覚障がいについて(講話) 手話の挨拶、指文字、自己の紹介方法

実施日	令和2年12月2日(水)
場所	門川小学校
参加者	門川小学校5年生児童66名
出席者	講師 視力障がい者福祉会2名、手話サークル3名、職員2名
内容	車イス体験、アイマスク体験、手話体験

実施日	令和3年2月12日(金)
場所	草川小学校
参加者	草川小学校5年生児童39名
出席者	講師 職員3名
内容	車イス体験、アイマスク体験

オ 教育の絆推進懇話会の参加・コミュニティスクール活動への協力

- ・福祉教育に関する検討会への参加(教育の絆推進懇話会)年3回【再掲】
- ・学校運営協議会への参加(各学校等)年3回【再掲】

カ 実習生の受入

実施日	令和2年10月26日(月)～令和3年1月8日(金)の内24日間
場所	門川町総合福祉センター
参加者	九州保健福祉大学生 2名
内容	地域福祉係業務の実習

③子ども見守りネットワーク事業の推進

児童・生徒の安心・安全な地域づくりを目的として事業を行いました。

ア 子ども見守りネットワーク推進会議の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 子ども見守り活動の広報の充実(社協だよりによる広報 年3回)

ウ 登下校時の見守り活動の実施

見守り登録者への更新案内（令和 2年 6月）

見守り登録者数 408人（427人）

活動用ベストの購入（500着）【新規】

エ 青色回転灯装備車による巡回パトロールの実施

入学、新学期時のパトロール実施

町と連携し、夜間パトロールを週に1回

（午後4時30分から午後6時30分まで実施）

④災害ボランティアに関する事業の推進

ア 災害ボランティア運営に関する研修会の実施 ※門川町民児協との共催

実施日	令和3年3月18日（木）
場所	総合福祉センター
参加者	民生委員児童委員、関係職員45名
内容	災害ボランティアセンターの機能と運営について 基本的な知識と技術を学ぶ機会とした

イ 災害ボランティアの啓発・広報（年1回）

⑤住民参加型在宅福祉サービス「たんぽぽ会」

住民相互の支えあい・たすけあい活動を行いました。

・サービス提供状況 協力会員 7人（8人） 利用会員33人（30人）

区分	実利用人数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
家事援助	33（30）	561（626）	872（880.5）
身体介護	0（0）	0（0）	0（0）
育児支援	0（0）	0（0）	0（0）
合計	33（30）	561（626）	872（880.5）

（6）関係機関・団体とのネットワーク形成

①福祉団体の育成支援事業の推進

ア 福祉団体、ボランティア団体の育成・支援（事務局業務）

民生委員児童委員協議会、高齢者クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、

団体名	活動内容
民生委員児童委員協議会	総会（書面審議）監査（年1回）、役員会（1回） 正副会長会（2回）、運営委員会（4回） 定例会（8回）毎月第3木曜日 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響 で中止した活動 PRあいさつ運動、町内小中学校訪問、 郡ブロック研修会、県民児協大会

団体名	活動内容
高齢者クラブ連合会	総会（書面審議） 監査（年1回）、理事会（4回）、 会長・女性部長合同会（2回） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響 で中止した活動 会長・会計合同会研修会、さわやか運動会 町高齢者クラブ大会、中学校地域学習 グラウンドゴルフ大会、小学校昔の遊び
ボランティア連絡協議会	総会（書面審議） 監査（年1回）、理事会（5回） ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響 で中止した活動 会員研修会、クリーン作戦、情報交換会
宮崎県共同募金会 門川町共同募金委員会	委員会（年2回）、監査（年1回） 募金活動、かどっぴー缶バッチ作成

#### イ 活動費助成

福祉団体、当事者団体等の育成および支援を目的に、活動費助成を行いました。

4団体 136,000円（4団体 160,000円）

No	団体名	事業内容	助成額（円）
1	高齢者クラブ連合会	単位クラブ活動支援	76,000
2	保護司会	更生保護活動事業	15,000
3	母子寡婦福祉連絡協議会	母子寡婦福祉交流活動	25,000
4	手話サークル	聴覚障がい者との交流会	20,000

#### ②関係機関との連携および会議の開催

ア 子ども見守りネットワーク推進会議【再掲】

イ 災害ボランティア推進協議会【再掲】

ウ 福祉施設との連携および活動支援

#### ③福祉施設合同事業の実施

ア 歳末ふれあい餅つき交流会（地球館主催事業）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

#### ④日向・東臼杵ブロック社協連絡協議会事業への出席

○監査

実施日	令和2年4月10日（金）
場所	門川町総合福祉センター
出席者	職員1名（監事）
内容	令和元年度事業報告及び収支決算報告について監査

○理事会

実施日	令和2年 4月17日(金) 7月17日(金) 11月13日(金)
場所	日向市総合福祉センター
出席者	事務局長、地域福祉課職員 2名
内容	令和元年度事業報告及び決算報告について 令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 職員研修会及び職員交流会について

○職員研修会

実施日	令和2年11月13日(金)
場所	椎葉村交流拠点施設「かてりえ」
参加者	管内の社協職員42名(内本会5名参加)
内容	「グループ別研修会」 局長会議、法人後見、訪問介護、地域福祉、災害支援、法人会計

(7) 低所得者支援および日常生活支援

①門川町成年後見事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が低下した方に対し、法人としてその方の財産管理や身上監護を行い支援しました。

ア 成年後見センターかどがわの運営

受任者	4名
定期支援	月1回 成年後見支援員による支援 ※突発的な事項等については専門員が対応
内容	年1回、裁判所への書類提出(3名) 受任時(就職時)の書類提出(1名) ケース会議への参加(随時) 死後事務1件(被成年後見人1名死亡)

イ 成年後見センターかどがわ運営委員会の開催

○運営委員会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○監査 ※新型コロナウイルス感染症の影響により監査を延期

ウ 人材育成(法人後見支援員の育成、専門員研修の参加)

実施日	令和2年7月29日(水)
場所	延岡市社会教育センター
研修会名	法人後見支援員養成研修事前説明会
出席者	民生委員、主任児童委員2名、職員1名

実施期間	令和2年10月～令和3年2月（全9回）
場所	宮崎県福祉総合センター他
研修会名	法人後見支援員養成研修
出席者	民生委員、主任児童委員 2名

実施日	1回目：令和2年9月18日（金） 2回目：令和2年11月2日（月）
場所	宮崎県福祉総合センター
研修会名	法人後見専門員育成研修
出席者	職員2名

実施日	令和2年12月1日（火）
場所	宮崎県福祉総合センター
研修会名	法人後見支援員フォローアップ研修
出席者	成年後見事業支援員2名、職員1名

実施日	令和3年3月4日（木）
場所	宮崎県福祉総合センター
研修会名	成年後見専門員スキルアップ研修
出席者	職員1名（事例報告）

（実習受入）宮崎県社会福祉協議会が実施する法人後見支援員研修受講者

実施日	令和2年12月25日（金）
場所	門川町総合福祉センター、金融機関・病院
研修会名	法人後見支援員養成研修（実習） 事業説明、利用者面接、支払い業務
出席者	法人後見支援員養成研修受講者2名

## ②資金貸付事業

### ア たすけあい金庫貸付事業【本会自主事業】

#### ○相談件数、貸付額

相談件数	申請件数	決定件数	金額(円)
21 (18)	12 (9)	12 (9)	500,000 (390,000)

### イ 生活福祉資金【県社協受託事業】

#### ○相談件数、貸付額

相談件数	相談延件数	申請件数	決定件数	金額(円)
12 (12)	20 (18)	3 (2)	3 (2)	2,836,000(1,967,000)

### ウ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活福祉資金特例貸付【新規 県社協受託事業】

#### ・緊急小口資金

申請件数	決定件数	金額(円)
75	75	14,500,000

#### ・総合支援資金

初回申請件数	決定件数	金額(円)
50	50	41,150,000

延長申請件数	決定件数	金額(円)
28	28	15,300,000

再貸付申請件数	決定件数	金額(円)
13	13	7,650,000

## ③日常生活自立支援事業の実施【県社協受託事業】

認知症、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分な方、生活に不安のある高齢者等が、地域において安心して自立した生活が送れるよう支援しました。

### ア 専門員の配置 1人

### イ 生活支援員の配置 3人

令和3年3月31日現在

実利用者数	新規契約者数	契約解除数	延支援回数
20人(26人)	3人(4人)	9人(4人)	538回(590回)

④生活困窮者支援に関する取り組み

ア 生活困窮者緊急支援事業（フードバンク）

生活困窮者から相談を受け、必要な方に食糧の提供を行いました。

相談件数	申請件数	決定件数	実利用人数
64件（49件）	64件（45件）	64件（21件）	24人（21人）

イ 在宅高齢者等宅清掃活動

対象世帯	件数
高齢者世帯	3件
障がい者世帯	1件
合計	4件

ウ 関係機関会議の参加

期 日	令和2年10月28日（水）	
場 所	門川町総合福祉センター	
内 容	門川町生活困窮者支援調整会議	1名出席

○個別ケース会議 7回 出席（各1名）

エ 法外援護事業（行路人や浮浪者など、法的に援助・支援されない者を対象に1回につき隣接市町村への交通費相当額500円を支給する事業）

令和2年度 支給なし

⑤社会福祉法人連携支援事業【県受託事業】

ア 参加社会福祉法人等

社会福祉法人友隣会、社会福祉法人誠育会、社会福祉法人五十鈴福祉会、社会福祉法人門川町社会福祉協議会、門川町ボランティア連絡協議会、門川町民生委員児童委員協議会、門川町地区福祉推進委員会、ショッピングセンターまるさ

イ 実施事業

- ・安心カード登録者台帳更新【再掲】
- ・学習支援事業・子ども食堂実施団体に対する支援
- ・買い物支援事業【再掲】

⑥福祉用具貸出事業（日常生活支援）（単位：台）

福祉用具	通常貸出	短期貸出
電動ベッド	16 (22)	1 (2)
車椅子	16 (23)	34 (26)
その他	5 (6)	14 (21)
合計	37 (51)	49 (49)

(8) 子育て支援事業の推進

放課後児童対策事業（児童クラブ）【町受託事業】

※登録児童数は令和3.3.31現在

校区名	実施場所	開館日数	登録児童数	延利用者数
門川小学校区	中央公民館	291日	34人	3,139人
五十鈴小学校区	五十鈴小学校	291日	35人	3,851人
合 計			69人	6,990人

(9) 障がい者福祉サービス

①コミュニケーション支援事業（手話通訳派遣事業）【町受託事業】

聴覚障がい者に手話通訳者を派遣できるよう職員を配置しています。

相談件数	派遣回数（回）	利用者（人）	派遣延人数（人）
18 (13)	1 (6)	1 (1)	3 (9)

※上記とは別に職員による手話通訳 17件（利用者1名）

②専門ボランティアの育成支援

○手話勉強会の支援

活動助成金の支給、勉強会の実施支援を行いました。

・助成額 60,000円

実施回数	22回（41回）
参加者数（延）	371人（781人）

○点訳活動支援

定例会場貸出（社協だよりの点訳活動 原則として毎月第2水曜日）

③点字版「社協だよりの発行（協力 門川点訳サークル「点とうむし」）

配布先 町内視覚障がい者 2世帯 12回（2世帯 12回）

## 2) 在宅福祉事業の推進

在宅福祉課では介護保険法および障害者総合支援法等の制度事業を実施し、利用者の在宅生活の安定化、機能維持、介護度改善、家族介護負担の軽減を目的に事業を進めました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者及び職員の安全を確保するため事業体制の見直しを行い実施しました。

### (1) 居宅介護支援事業の実施

介護支援専門員が相談援助、ケアプラン作成、サービス調整等を行いました。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大時は電話連絡等で利用者の状況把握を行いました。

- ・介護支援専門員 4人 (4人)
- ・実利用人数 181人 (164人)
- ・居宅介護支援延件数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
354 (404)	608 (525)	303 (265)	210 (106)	38 (24)	1,513 (1,324)

### (2) デイサービス事業の実施 (開所日数: 276日)

新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため非接触型の検温器、空気清浄機など備品等を整備し、利用者への感染症防止対策の徹底を図りました。

なお、本事業の現状を検討し、令和2年8月から土曜日を休日としました。

#### ①介護保険のデイサービス

介護予防通所介護事業及び従来の通所介護事業を実施し、機能維持、日常生活支援、家族支援を行いました。

##### ア 通所介護事業

###### ・利用状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実利用者数	18 (27)	33 (24)	9 (14)	7 (6)	2 (1)	69 (72)
延利用者数	1,415 (2,410)	2,727 (1,737)	724 (1,167)	669 (766)	190 (185)	5,725 (6,265)

##### イ 介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービス)

###### ・利用状況

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
実利用者数	5 (4)	26 (19)	24 (21)	55 (44)
延利用者数	66 (80)	1,833 (1,533)	1,282 (954)	3,181 (2,567)

②基準該当生活介護事業の実施

障がい者の社会参加や自立促進、生活の質の向上等を目的に実施しました。

・利用状況

実施日数	実人員	延利用者数	1日平均利用者数
102日 (105日)	1 (1)	102 (105)	1 (1)

○事故・苦情等の状況

区分	件数	内 容
苦 情	3件	・職員の発言、対応について
ケア事故	11件	・椅子からシルバーカーへの移動時に転倒する。 ・送迎の車両内で転倒する。 ・浴槽に入る際に膝折れする。 ・車イスから座席に移乗する際にふらつき、皮膚剥離する。
車両事故	3件	・送迎時の安全確認不足で、ブロック塀等に車を接触させる。

(3) ホームヘルプサービス事業の実施 (開所日数：365日)

①介護保険の訪問介護事業

介護予防訪問介護事業及び要介護者を対象とする訪問介護を実施し、利用者の家事援助・身体介護を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問介護員すべてに非接触型の体温計を整備し、感染症拡大防止に努めながら事業を実施しました。

ア 訪問介護事業

・実利用者数 28人 (22人)

・利用状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延派遣回数	694 (1,236)	1,593 (1,715)	226 (107)	43 (148)	282 (175)	2,838 (3,381)
延派遣時間	685.25 (1,250.00)	1,566.5 (1,647.0)	183.17 (107.00)	21.5 (129.0)	215.5 (176.0)	2,671.92 (3,309.00)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービス)

・実利用者数 31人 (33人)

・利用状況

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
延派遣回数	172 (55)	1,024 (1,442)	987 (802)	2,183 (2,299)
延派遣時間	165.08 (55.00)	1,009.67 (1,437.00)	986.25 (801.00)	2,161 (2,293)

- ②障害者総合支援法のホームヘルプサービス（居宅介護、同行援護、移動支援）  
障がい者に対しホームヘルパーを派遣し、在宅の生活を支援しました。

【居宅介護】

実利用者人員	延派遣回数	延派遣時間
7(8)	2,865 (1,873)	1,695.92 (1,348)

【同行援護】

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
4 (6)	52 (78)	153 (277)

【移動支援】 地域生活支援事業

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
1 (2)	24 (28)	46.83 (74)

③事故・苦情等の状況

区分	件数	内 容
ケア事故	2件	・シフト確認不足により、訪問時間に遅れる。
車両事故	1件	・訪問時安全確認不足でブロック塀に車を接触させる。

(5) 実習の受入

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で受入れを中止しました。

### 3) 地域包括支援センター事業推進【町受託事業】

介護サービス・介護予防サービス・保健福祉サービス、日常生活支援などの総合相談窓口として様々な問題解決に向け相談支援や広報啓発等を行いました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、利用者の安全の確保を優先しながら自立した生活や活動に取り組み続けられるように介護予防事業の推進や認知症対策にも積極的に取り組みました。

#### (1) 一般介護予防事業

##### ①介護予防教室

実施地区数	2地区／2回（6地区／7回）
場 所	各地区公民館
参 加 者	27人（134人）
内 容	講話（介護予防について、介護保険制度等） 講師：包括職員

##### ②いきいき百歳体操

ア 定例実施地区 40地区／46会場（39地区）  
実施者数 延2,134人（1,810人）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  
実施地区へ訪問し『新しい生活様式』の説明と消毒液の配布を行いました。

イ 百歳体操サポーター養成研修  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止  
介護予防活動ガイドブックを作成し、サポーター・地区公民館に配布しました。

ウ 百歳体操サポーター交流会（スクエアステップフォローアップ講習会合同）  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため交流会は中止。  
表彰者には、賞状と記念品を贈呈しました。

##### ③いきいきサロン活動支援

いきいきサロンフォローアップ

実施日	令和2年12月22日（火）
場 所	庵川西公民館
参加者	各地区サロン参加者 35人（3地区93人）
内 容	体操指導、レクレーション指導他

##### ④ノルディックウォーク教室

ア 出前教室

実施回数	15回
場 所	6地区
参 加 者	延145人

イ 自主サークル支援

実施回数	58回
場所	13会場
参加者	延475人
内容	ノルディックウォークのフォローアップ

⑤スクエアステップ

ア 地区訪問

実施日	地区の希望する日 年間61回(117回)
場所	各地区公民館等 28会場(32会場)
参加者	延595人(1,014人)
内容	スクエアステップの紹介、体験

イ フォローアップ講習会(百歳体操サポーター交流会合同)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ウ サポーター養成講座

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑥パワーリハビリ教室

	期間 回数	二次予防 対象者	要支援認 定者	要介護認 定者	一般 高齢者	障がい	合計
通常コース (8クール)	3ヶ月 週2回	27 (37)	3 (4)	0 (1)	12 (18)	0 (0)	42 (60)
フォローアップ (2クール)	6ヶ月 週1回	7 (12)	1 (1)	0 (0)	12 (3)	0 (0)	20 (16)
地域開放型	—	—	—	—	34 (63)	—	34 (63)

\*サポーター数4人(4)

⑦疾患別既往者サロン(自己管理プロジェクト)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

「健康寿命をのばすには…血圧管理がカギ!」のパンフレット作成し全世帯配布

⑧参加者の個別機能評価(体力測定)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑨介護予防活動の支援と協力

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い一般介護予防事業休止の間、電話にて利用者の状況確認を行いました。

## (2) 認知症施策支援事業

### ①サポーター養成講座の開催

実施日	場 所	参加者
①令和2年 7月17日(金)	門川中学校1年生	163人
②令和2年11月 5日(木)	門川高等学校1年生	16人
③令和2年12月17日(木)	民生委員児童委員	41人
④令和3年 1月 8日(金)	一般	3人

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い依頼あった団体・一般向けに講座を開催  
認知症サポーター養成講座の啓発活動としてチラシ作成し配布(町内小中学校)

### ②認知症徘徊模擬訓練

新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止  
徘徊模擬訓練の啓発活動としてチラシ作成し全世帯配布

### ③関係会議の参加

ア 門川町認知症施策事業の関係機関会議 5回  
サポーター養成講座、認知症カフェの検討等

## (3) 認知症初期集中支援事業

認知症初期集中支援 チームとの連携	初期相談対応 4人 訪問回数 94回 初期集中支援チームへの紹介5人 会議参加12回
----------------------	---

## (4) 包括的支援事業

### ①高齢者等相談支援

#### ○相談者件数(延件数)

来所	訪問	電話	書面	その他	合計
204 (278)	774 (765)	2,074 (1,402)	141 (99)	237 (537)	3,430 (3,081)

\*内夜間相談:延7件(7)

#### ○相談者内訳件数(延件数)

本人	1,507 (1,515)	ケアマネ	160 (129)	医療関係	432 (268)
家族(同居)	316 (264)	役 場	199 (148)	北部福祉こども センター	7 (4)
家族(別居)	329 (315)	事業所	255 (199)	そ の 他	75 (88)
近 隣 者	56 (44)	民生委員	94 (107)	合 計	3,430 (3,081)

○相談内容別件数（延件数）

身体に関すること	1,992 (1,511)
認知症に関すること	650 ( 629)
疾病に関すること	289 ( 232)
高齢者虐待に関すること	43 ( 33)
権利擁護に関すること	16 ( 10)
実態把握訪問	15 ( 71)
その他	425 ( 595)
合 計	3,430 (3,081)

②地域におけるネットワークとの連携及び支援

（再掲 地区福祉推進委員研修および座談会の実施）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③高齢者支援に関する情報発信

おとじま通信（社協だより）	毎 月
ホームページ	随 時 更 新
エフエムひゅうが	令和2年 7月 3日（金） 令和2年10月16日（金） 令和3年 2月 5日（金）
MRTラジオ	令和2年 8月27日（木）

④関係機関との連携

ア 各種関係機関会議の参加

会 議	実績・内容等
地域密着型サービス運営推進会議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面で送付	4事業所
門川町地域ケア会議	3回
地域密着型サービス運営委員会	0回
門川町国民健康保険運営会議	1回
やっちみろや健康づくり運営協議会	1回
民生児童委員高齢者部会との意見交換会	1回

イ 介護支援専門員連絡会の開催

実施回数	8回（10回）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	町内介護支援専門員、福祉課職員 延129人（延213人）
内容	・事例検討等 7回 ・民生委員・児童委員との情報交換会 1回

ウ 介護サービス事業所向け研修会の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑤権利擁護業務

ケース会議	6回 議題：高齢者虐待、認知症等
在宅高齢者等宅清掃活動【再掲】	4回 対象者：高齢者、障がい者世帯等

(5) 介護保険事業

要支援1・2・総合事業対象者と認定された高齢者等に対してサービス計画を作成し、自立にむけた支援を行いました。

○介護報酬請求件数

	介護報酬請求 延件数	内新規	自立実件数
介護予防支援	1,477 (1,590)	57 (48)	
介護予防ケアマネジメント	1,130 (1,233)	59 (66)	
合計	2,607 (2,823)	116 (114)	9 (7)

○特定福祉用具購入、住宅改修のみの利用者対応

	要支援1	要支援2	要介護	合計
特定福祉用具購入のみ	2 (2)	4 (5)	1 (1)	7 (8)
住宅改修のみ	10 (3)	11 (14)	7 (8)	28 (25)
福祉用具購入と住宅改修	2 (3)	4 (5)	1 (4)	7 (12)
合計	14 (8)	19 (24)	9 (13)	42 (45)

(6) 実習生の受け入れ

九州保健福祉大学 2人 各24日 【再掲】

#### 4) 障害児・者相談支援事業の推進【町受託事業】

##### (1) 障がい者相談支援事業の推進

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、利用者の安全を第一に相談対応、連携強化を行いました。また障がいの理解・啓発を通して、安心して暮らし続けられる地域づくりに努めました。

○実利用者数 87人(302人) \*令和2年度より相談件数は実利用人数

○相談件数(延) 854人(759人)

○障がい種別相談件数(延)

身体	知的	精神	児童	*その他	合計
242 (264)	198 (100)	367 (275)	36 (64)	21 (23)	864 (726)

\*その他：難病、手帳の未所持者等

○相談方法別相談件数(延)

来所	訪問	電話	文書	*その他	合計
30 (31)	376 (281)	237 (238)	1 (11)	220 (198)	864 (759)

\*その他：個別支援会議、関係機関との連携等

○会議等の開催

##### 【個別支援ケース会議】

実施日	随時(年11回)
場所	門川町総合福祉センター、門川町役場、門川中学校、北部福祉こどもセンター他
参加者	関係機関 延72人
内容	生活困窮、進学、家族、就労、生活等

○会議等への参加

会議名	参加回数(回)
日向・東臼杵郡障がい者自立支援協議会および部会	15 (30)
日向・門川・入郷地区 就労・生活支援担当国会議	1 (9)
門川町地域活動支援センター運営会議	4 (5)
宮崎県障害者相談支援事業連絡協議会	2 (0)
子ども発達支援ネットワーク会議	0 (3)
地域移行支援事業担当者連絡部会	0 (1)
その他	2 (5)
合計	24 (53)

○研修会等への参加

開催日	研修名
令和3年 3月 2日(火)	MSR県北ブロック研修会

○障がいの理解・啓発に関する研修会の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○障がいの理解・啓発に関するチラシを作成し、全世帯に配布しました。

○計画相談

障がい福祉サービスを利用される方の相談支援、サービス計画の作成を行いました。

報酬請求延件数

計画件数	モニタリング件数
56(34)	152(54)

(2) 地域活動支援センター事業の実施

障がい者等を対象に生活訓練や創作活動を通して、日中活動の場を提供しました。

実施日数	実人員	延利用者数	一日平均利用者数
233(228)	4(3)	401(394)	1.7(1.7)

## 5) 法人経営体制の充実

### (1) 組織改正

事務局規程の改正により係制から課制にし、職階制の改革を行いました。【新規】

### (2) 役員会、評議員会の充実、職員の資質向上

#### ①役員会、評議員会の開催

##### ・理事会 2回

実施日	令和2年6月10日(水)
出席者	理事6名、監事2名、職員7名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務局規程の一部改正について</li><li>・給与規程の一部改正について</li><li>・令和元年度事業報告及び決算について</li><li>・定時評議員会の招集事項について</li></ul>

実施日	令和3年3月19日(金)
出席者	理事6名、監事2名、職員8名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"><li>・評議員選任解任委員の選出について</li><li>・就業規則の一部改正について</li><li>・臨時職員・嘱託に関する規程の一部改正について</li><li>・パートタイマー職員就業規則の一部改正について</li><li>・非常勤ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について</li><li>・経理規程の一部改正について</li><li>・退職手当支給に関する規程の一部改正について</li><li>・令和2年度補正予算について</li><li>・令和3年度事業計画について</li><li>・令和3年度予算について</li><li>・評議員会の招集事項について</li></ul>

##### ・評議員会 2回

実施日	令和2年6月26日(金)
出席者	評議員7名、役員(会長1名、監事2名)、職員5名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年度事業報告及び決算について</li></ul>

実施日	令和3年3月29日(月)
出席者	評議員5名(欠席2名)、会長1名、職員8名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度補正予算について</li><li>・令和3年度事業計画について</li><li>・令和3年度予算について</li></ul>

## ②監査・調査の実施

期日	監査名・実施者	監査内容
令和2年 5月13日(水) 14日(木)	外部監査 (木山会計事務所)	令和元年度決算監査
令和2年 5月29日(金)	社協監査 (社協監事)	令和元年度事業、 決算監査
令和2年10月22日(木)	補助団体等に関する監査 (町監査委員)	令和元年度事業、 決算監査
令和2年11月10日(火) 11日(水)	外部監査 (木山会計事務所)	令和2年度中間監査
令和3年 1月14日(木)	日常生活自立支援事業実施 状況の訪問調査 (宮崎県社会福祉協議会)	日常生活自立支援事業 事業執行状況調査

## ③職員研修、職員派遣

区分	回数	人数	主な内容
外部研修	44(135)	65(184)	県社協等主催研修会参加 成年後見研修、介護報酬改定研修等
内部研修	55(79)	253(546)	各部署研修会等
職員派遣 (会議)	132(151)	164(249)	地域ケア会議、介護認定審査会等
職員派遣 (講師等)	13(12)	20(19)	門川高校出前講座等

## (2) 自主財源の確保

### ①会費

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
一 般 会 費	5,298 (5,293)	1,902,880 (1,905,600)
賛 助 会 費	599 (585)	1,264,000 (1,296,000)
合 計	5,897 (5,878)	3,166,880 (3,201,600)

### ②寄付

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
香 典 返 し	111 (100)	3,560,000 (2,876,000)
一 般 寄 付	1 (10)	1,036 (303,150)
合 計	112 (110)	3,561,036 (3,179,150)

※社協だより及びチラシ等を配布し社協事業にご理解いただくよう努めました。

### (3) 赤い羽根共同募金運動の展開

#### ①共同募金運動の推進（令和2年10月1日～12月31日）

募金総額 4,400,102円（4,456,455円）

[募金目標額 3,804,000円 達成率 115.6%]

募金種別	金額（円）
戸別募金	3,172,400（3,221,400）
大口・法人募金	1,029,000（1,049,000）
職域募金	64,625（41,028）
地域募金	36,045（23,431）
学校募金	55,529（47,784）
街頭募金	0（73,209）
その他	42,503（603）

#### ②宮崎県共同募金委員会門川町共同募金委員会業務

#### ③「赤い羽根共同募金だより」の発行（令和3年3月）

### (4) 財務状況の公開

社会福祉協議会の健全な経営を推進していくために、予算、決算状況を社協だより及びホームページにおいて公開し、理解を求めました。

### (5) 情報公開制度の推進

#### ①「社協だよりの発行【再掲】

#### ②ホームページによる情報提供の充実【再掲】

### (6) 苦情解決への取り組み

本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援するために、苦情解決委員を選任しています。

### (7) 施設管理【町受託事業】

総合福祉センターの適正かつ円滑な管理に努めました。

#### 総合福祉センター【指定管理者施設】

- ・開館日数 286日
- ・年間利用者数 14,562人（20,511人）  
（内有料貸出 0回）

## (8) 労務管理

- ①社会保険労務士の指導のもと、適正な労務管理に努めました。
- ②宮崎県の「仕事と家庭の両立応援宣言」に基づき、職員が働きやすい職場づくりを目指しました。
- ③労働安全衛生法に基づき、職員の心身の健康保持のため、健康診断及びストレスチェックを産業医の指導のもと行いました。
- ④働き方改革関連法に基づき、「働き方改革」に向けての各規程改正等を行いました。

## (9) 社会福祉充実計画（4年目）

職員に処遇改善の一時金を支給しました。

## (10) 災害支援の取り組み

7月豪雨災害義援金、熊本県南豪雨義援金、福岡豪雨災害義援金、佐賀豪雨災害義援金、大分豪雨災害義援金、令和2年豪雨災害義援金活動に取り組みました。

・福祉センター募金受付 133,233円(宮崎県共同募金会を通じて送金)

## (11) 総合福祉センター Wi-Fi 設置

総合福祉センターにWi-Fiを設置し、災害時における避難者及び福祉団体等のセンター利用者がいち早く情報を得ることができるように、通信環境の整備をおこないました。

## 新型コロナウイルス感染症防止への取組み

### 1. 感染流行地域等における利用者、職員の接触についての制限

- ①サービス利用者、家族等が感染流行地域等への訪問又は流行地域からの帰省者等との接触があった場合、翌日から5日間のサービス利用停止
- ②職員が感染流行地域等への訪問又は流行地域からの帰省者等との接触があった場合、翌日から5日間の自宅待機（特別休暇付与）
- ③職員の家族等の勤務先、学校等において感染者又は濃厚接触者が出た場合は状況を見て必要日数の自宅待機

### 2. 介護予防事業

公共施設閉鎖時の介護予防事業の休止

### 3. 在宅利用者訪問

利用者宅訪問時におけるマスク、フェースシールド着用、消毒液携帯の徹底

### 4. 総合福祉センター貸出し休止等

公共施設閉鎖時の会場貸出し休止及び職員朝礼の休止

### 5. 総合福祉センター来館者把握等

- ①来館者受付、検温、入館制限
- ②西側玄関閉鎖
- ③職員出勤時検温

### 6. 通所介護事業（デイサービス）の入室制限

通所介護事業職員以外の職員等の入室禁止

### 7. 備品整備等

- ①事務所前飛沫防止カーテン設置
- ②飛沫感染防止シート設置（地域包括支援センター事務室、パワーリハビリ室）
- ③相談対応用ボード整備
- ④顔認証温度検知器設置（事務所前）
- ⑤空気清浄機整備  
（通所介護、居宅介護支援・訪問介護 地域包括支援センター、児童クラブ）
- ⑥非接触型体温計の整備  
・各係及び訪問介護員へ配布
- ⑦消耗品配布等  
・職員へマスク、フェースシールドを配布  
・総合福祉センター各部屋等に消毒液設置

### 8. 注意喚起

- ①サービス利用者・家族及び職員へ感染防止の文書配布による注意喚起
- ②職員朝礼等における注意喚起